

外洋総務委員会 議事概要

2010年4月8日

文責：平井 昭光

日時：平成22年4月8日（木） 18：30～20：30

場所：株式会社トーヨーアサノ3F会議室

出席：植松眞 JSAF 副会長、児玉萬平 JSAF 常務理事、鈴木保夫委員長、浅野英武委員、野田裕二委員、山本高靖委員、平井昭光委員

合計7名

議事概要：

<艇登録 Web サイト業務フローについて>

- ・児玉常務理事から艇登録 Web サイト業務フローについて説明がなされた。
- ・支援艇については、船検名義人とリンクさせる方向で検討。
- ・登録料金については、各加盟団体において上限 2000 円まで任意に請求することを可能とする。
- ・艇登録証もこの Web サイトを用いて発行できるようにしたら如何かとの意見があった。この点については、進捗を見ながら適宜進めていくこととする。
- ・艇登録のデータのアップデートの方法については、今後さらに検討する。
- ・三崎ヨットの運用について。江ノ島、小網代及び三崎マリンからの運用を予定している。鈴木委員長保有の土地に25Wで設置予定。見通しがかなり良いので遠距離まで電波が到達する可能性が高い。湘南では沖氏が担当との連絡が来ている。設置費用については、相模湾の3団体から各150万円ずつ拠出してもらう予定となっている。各加盟団体の会長に集ってもらい、その後各団体において機関決定を行ってもらう予定である。設置のスケジュールから考えて、5月中旬までに支出についての機関決定を行うことが必要。なお、旧関東四支部基金については、各団体で支出が可能となるように支出解除の四団体機関決定も行うものとする。

<登録拡大のためのチラシについて>

- ・加盟団体によって、艇登録料金3000円に各自の手数料を上乗せして請求しているので、表示を検討して欲しいとの意見あり。現段階で全国统一は難しいので、3000円に各加盟団体それぞれの手数料を載せていく方向性を維持する。
- ・チラシの記載を再検討して、上記要求に応えられるようにする。一例として、「艇登録料金として、約1万円前後かかります。当該料金には、JSAFと加盟団体の費用が含まれます。」といった記載が考えられる。
- ・全国统一料金の可能性については、6月18日（金）に各加盟団体長会議を開催し、検討する。
- ・メリットの中で、レースルールについては、「最新の情報を取得できます」という記載

に変更。

<今後の組織について>

- ・外洋系の最高意思決定機関を作った方が良いのでは、という意見が出された。本年1月においては、拡大総務委員会との名称を用いた。
- ・外洋会議（Off Shore Conference）ではどうか？毎年2回必ず開くようにしたら如何か。
- ・今後、加盟団体の組織とクラブ問題について、慎重に議論を進めることとする。
- ・構成員としては、各加盟団体長、事務局長、特別加盟団体長、総務委員会委員、主要な委員会の委員長などを基礎にして考えていきたい。

以上